

著者紹介

Jeffrey T. Kreulen

Jeffrey T. Kreulen is senior technical staff member and senior manager of Services Oriented Technologies at the IBM Almaden Research Center in San Jose, California. He holds a B.S. degree in applied mathematics (computer science) from Carnegie-Mellon University, a M.S. degree in electrical engineering and a Ph.D. in computer engineering both from The Pennsylvania State University. Since joining IBM in 1992, he has worked on multiprocessor systems design and verification, operating systems, systems management, web-based service delivery, and integrated text and data analysis.

Jim Spohrer

Jim Spohrer is the director of Services Research at the IBM Almaden Research Center in San Jose, California. His team develops service innovations (integrated business, technology, social-organizational, and demand innovations), ranging from business and industry modeling, organizational change and transformation methods, to semantic super computing information services and business information services. He has a B.S. in Physics from MIT, and a Ph.D. in Computer Science (specializing in Artificial Intelligence and Cognitive Science) from Yale.

Paul P. Maglio

Paul P. Maglio is senior manager of Service Systems Research at the IBM Almaden Research Center in San Jose, California. Since joining IBM Research in 1995, Maglio has worked on programmable Web intermediaries, attentive user interfaces, multimodal human-computer interaction, and human aspects of autonomic computing. He holds twelve patents and has published more than 60 scientific papers in various areas of computer science and cognitive science. He holds a bachelor's degree in computer science and engineering from MIT and a Ph.D. in cognitive science from the University of California at San Diego.

Savitha Srinivasan

Savitha Srinivasan is senior manager of Solutions Innovation Research at the IBM Almaden Research Center in San Jose, California. Her primary interests are in defining innovative solutions for key challenges in services engagements. In terms of research and technologies, her interests include multimedia indexing and retrieval, document management, business process transformation and large scale unstructured information management. She holds 15 patents, has published over 30 papers in information management and document management. She is the associate editor for multimedia in IEEE Computer and ACM TOMCAMP and is a member of ACM and IEEE. She has a Masters in Computer Science from Pace University.

青木 利晃 (正会員)

1999年北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。博士(情報科学)。同年同大助手。2006年3月より同大安心電子社会研究センター特任助教授。組み込みシステ

ム開発手法、形式的手法等の研究に従事。

石崎 俊 (正会員)

1970年東京大学工学部計数工学科卒業。通産省工業技術院電子技術総合研究所(現、産総研)推論システム研究室長などを経て、1992年から慶應義塾大学環境情報学部教授。1995年本会情報規格調査会副会長、2003年から同会長。

恐神 貴行

日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所主任研究員。確率モデルにおける性能解析と最適化の研究に従事。1998年東京大学電子工学科卒業。2005年カーネギーメロン大学計算機科学科博士課程修了。

鹿島 久嗣 (正会員)

1999年京都大学工学研究科応用システム科学専攻修士課程修了。同年日本アイ・ビー・エム(株)入社。東京基礎研究所に所属。機械学習、データマイニングの研究と、その応用に従事。

片山 卓也 (正会員)

1962年東工大電気工学科卒業。1974年同情報工学科助教授、1985年教授、1991年より北陸先端大情報科学研究科教授。専門:形式の開発手法、高信頼組み込みシステム、ソフトウェア進化発展機構。

金子 龍三 (正会員)

日本電気通信システム(株)執行役員品質保証担当、NCOS技術研修所長。改善・改革技術、開発部門長教育に関心あり。東京農工大学客員教授。日本品質管理学会、日本信頼性学会、電子情報通信学会など各会員。

加納 真 (正会員)

日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所副主任研究員。ビジネスプロセスのモデリングと管理技術の研究に従事。2000年東京大学工学部機械工学科卒業。2002年同大工学系研究科修士課程修了。

岸 知二 (正会員)

京都大学工学部情報工学科修了。電気メーカーでソフトウェア開発支援の研究開発に従事。北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科博士後期課程修了。工学博士。現在、同大情報科学研究科。

小池 英樹 (正会員)

1991年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻修了。工学博士。現在、電気通信大学大学院情報システム学研究科教授。情報視覚化、セキュリティとユーザビリティ、不正侵入検知とハニーポット、画像認識のHCIへの応用などの研究に従事。

高田 哲司 (正会員)

電気通信大学大学院情報システム学研究科修了。博士(工学)。現在、産業技術総合研究所情報流アザイングループ研究員。情報セキュリティとユーザインタフェースのすき間に興味を持つ。

高田 広章 (正会員)

名古屋大学大学院情報科学研究科情報システム学専攻教授。附属組み込みシステム研究センター長を兼ねる。組み込みシステム設計技術、リアルタイムOS、リアルタイム性解析技術などの研究に従事。オープンソースのITRON仕

様OSなどを開発するTOPPERSプロジェクトの会長をつとめる。本会組込みシステム研究会主査。

田代 秀一 (正会員)

1987年筑波大学大学院博士課程工学研究科修了。工学博士。同年通産省工業技術院電子技術総合研究所入所。2001年より(独)産業技術総合研究所。2006年1月より(独)情報処理推進機構(IPA)オープンソースソフトウェア・センター長。

ただただし

フリーソフトウェアWeb日記(ブログ)管理ツール「tDiary」の開発者。共著に「Rubyを256倍使うための本網道編」など。

中島 達夫 (正会員)

早稲田大学コンピュータネットワーク工学科教授。組み込みシステム、分散システム、ユビキタスコンピューティング、センサネットワーク等に興味を持つ。

中田 育男 (名誉会員)

1960年東京大学数物系研究科修士課程修了。同年日立製作所に入社。1979年より、筑波大学電子・情報工学系教授、図書館情報大学教授、法政大学情報科学部教授を経て、現在法政大学情報科学研究科客員教授。

中村 智久

(株)NTTデータ技術開発本部社員。2002年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。同年NTTデータ入社後、TPMをはじめ、携帯電話向けUIM、FeliCaなどセキュリティチップ全般に関する技術開発に従事。

野中郁次郎

1958年早稲田大学政治経済学部政治学卒業。1972年カリフォルニア大学経営大学院Ph.D.を取得。南山大学経営学部教授、防衛大学教授、一橋大学教授、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科長、一橋大学大学院国際企業戦略研究科教授を経て、現在一橋大学大学院国際企業戦略研究科名誉教授。カリフォルニア大学(バークレー校)経営大学院ゼロックス知識学名誉教授。主な著書に「戦略の本質」、「失敗の本質」、「知識創造企業」、「イノベーションの本質」など。

東川 淳紀

(株)NTTデータ技術開発本部シニアエキスパート。1999年京都大学大学院工学研究科修士課程修了。同年NTTデータ入社後、ICカードおよび運用システム、セキュリティチップの応用に関する研究開発に従事。

日高 一義 (正会員)

1984年東京工業大学総合理工学研究科エネルギー科学科修了。1996年早稲田大学理工学研究科論文博士(理学)。日本IBM東京基礎研究所ビジネス・サービス・リサーチ担当・部長。

増井 俊之 (正会員)

(独)産業技術総合研究所にて、情報検索、テキスト入力、情報視覚化、実世界指向インタフェース、富豪のプログラミングなどの研究に従事。

水田 秀行 (正会員)

1997年東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了。同年日本IBM(株)入社。

東京基礎研究所でエージェントによる複雑系社会学や組織解析等サービス・サイエンスに関連した研究に従事。ACM 会員。

渡邊 坦 (正会員)

1962年京都大学理学部数学科卒業。日本IBM(株)、(株)日立製作所、電気通信大学を経て、現在電気通信大学名誉教授。工学博士。主として言語処理系に興味を持つ。ACM、日本ソフトウェア科学会各会員。

第49回通常総会の開催について

会長 安西祐一郎

第49回通常総会を代表会員制度に沿って下記により開催いたします。
総会の案内状は、民法上の社員である、選挙で選出された代表会員および役員に4月に郵送いたします。ご欠席の場合には、必ず委任状をご返送ください。
総会の議事議決権は代表会員および役員が有しますが、もちろん代表会員以外の正会員・名誉会員の皆様も、積極的に総会に出席してご発言いただきますようお願いいたします。

記

- 日 時 平成 18 年 5 月 30 日 (火) 16:00 ~ 18:00
会 場 学士会館 (東京都千代田区神田錦町 3-28)
議 案 1. 平成 17 年度事業報告および決算について
2. 監査報告
3. 平成 18 年度事業計画および予算について
4. 会費滞納会員の取扱いについて
5. 名誉会員の推挙について
6. 平成 17 年度功績賞、論文賞、業績賞、長尾真記念特別賞の発表と表彰
7. 平成 18 年度役員改選について

※総会終了後、懇親会 (有料予定) を行います。皆さまのご出席をお待ちしております。

情報処理学会の会員になりませんか!

社団法人 情報処理学会は、IT に関する専門家集団として 21 世紀情報化社会の発展に向け、学術・文化・産業等の多方面に貢献しています。

情報処理学会は IT 分野の皆様のお役に立ちます。

新規会員
募集中

■活動の概要

- 機関誌 (「情報処理」「情報処理学会論文誌」) の発行
- 各種行事の開催 (研究発表会、全国大会、情報科学技術フォーラム (FIT)、シンポジウム、連続セミナー他)
- 情報処理教育活動
- 国際交流
- 標準化活動
- 出版活動

■ご入会いただくとこんな良いことがあります

- 1 最新技術を紹介する機関誌「情報処理」が毎月お手元に届きます。
- 2 電子図書館 (BookPark) で「情報処理」の過去の記事を見ることができます。
- 3 「連続セミナー」に会員価格で参加できます。
- 4 「シンポジウム」に会員価格で参加できます。
- 5 「研究発表会」に会員価格で参加できます。
- 6 出版図書が会員割引で購入できます。
- 7 《学生会員の方は》お好きな研究会を 1 つ無料で登録できます。
- 8 《学生会員の方は》IPSJ Digital Courier に論文が掲載されると、船井財団により表彰され賞金がもらえます。

■会員になるには

会費等をお振り込みの上、入会申込書をお送りください。詳しくは以下をご覧ください。

↓
www.ipsj.or.jp

●個人会員

- 正 会 員：当学会の中心的会員で、IT 分野に携わる個人
- 学 生 会 員：学校に在学中の個人
- 準 会 員：専門外の高校、中小学校等の教職員、地方自治体等に勤務の個人
- 名 誉 会 員：当学会の活動において特別な功績のあった個人
- 賛助会員：当学会の活動をサポートする法人

(社) 情報処理学会 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Tel.(03)3518-8370 Fax.(03)3518-8375 mem@ipsj.or.jp

おひいすらん

最近行き付けの図書館にリサイクルコーナーが設けられた。覗いてみると「電子の巨人たち」という本が目にとまり、パラパラめくってみたところトランジスタが開発された経緯が詳細に書かれており面白そうなのでいただいていた。トランジスタや集積回路の技術なしでは現在のような小型、高性能、で安価なコンピュータは実現できなかったろうし、情報処理学会も生まれなかったに違いないので、トランジスタを発明したベル研究所の3人（ウィリアム・ショックリー、ジョン・バーディーン、ウォルター・ブラタン）には感謝、感謝である。ベル研究所以外にもトランジスタを発明できる可能性を持ったライバル研究所はあったし実際に開発を競っていたが、ベル研究所でトランジスタが発明されたのはいくつかの偶然と幸運に恵まれたこともあった。たとえば、当時量子力学は確立されておりこれを活

用することはライバルの研究所にもできたことであるが、当時の科学界にあってベル研究所は最高の研究機関で、米国内での最高の理学部に匹敵する研究者と、他のどんな研究機関にもとうてい太刀打ちできないほどのリソースがそろっていた。3人は困ったことがあれば化学者、機械工学者など相談できる人を身近に探し助言や協力を求めることができた。現在では、インターネットで問いかければベル研究所とは比較にならないほど多くの人から反応があるかもしれないが、問いかける相手を間違えれば専門的な内容への反応を期待することはむずかしい。コミュニケーションの方法や質などいろいろな意味で両者の違いを埋めることに学会の存在意義があるのかもしれない。

(三田真弓／規格部門)



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会、会費、変更連絡、退会、在会証明、会員証、会費等口座振替、海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容、広告掲載、転載許可、出版、著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録、研究発表会、シンポジウム、研究グループ、論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会、FIT、連続セミナー、プログラミング・シンポジウム、国際会議、IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会、支部、役員選挙、名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納、送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画、電子化委員会、電子図書館、IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、2月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「通信と放送の融合」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■プロ野球ライブ配信の実現手法に関する記事は、身近に感じる内容で面白く読むことができました。昨今Podcastを使った映像の配信も増えてきていますが、ライブ配信でなくオンデマンドな放送と通信の融合の観点についても興味があります。日本は海外に比べて放送側の立場が遅れがちに見えますが、実際のところはどのようなのでしょうか。（平島大志郎）

■教育関連でのコンピュータ利用技術に現在関心があるため、特集記事は非常に参考になりました。特に教育関連の記事で、ハイテクではあるものの、アナログのやり方をうまく活かしている点が非常に面白く感じます。（匿名希望）

■1つ1つの内容は知識として知っていた著作権と隣接権について、実際の放送事業では、こうも組み合わせられ交叉し複雑化されている様相を呈するものかと、改めて認識させられました。記述が分かりやすく説得力もあり、大変興味深く読みました。（岡田昌康）

■最近、通信と放送を隔てる垣根が低くなっています。時期を得た特集であると思います。（水野光朗）

■「1. 通信・放送の今」は、最近の大きな話題になっている時事問題の1つを詳しく、技術的に解説されており、タイムリーな読み物だと思いました。（竹下 亨）

解説「量子コンピュータは公開鍵暗号にとって脅威なのか？」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■興味あるテーマだったので期待したが、数式が多く出てきており、素人の私には分かりにくい記事であった。（匿名希望）

■量子コンピュータが実現してコンピュータの演算能力が高まると従来の暗号は何でも解読されてしまうかのように取り上げられる場合がありますが、今号の暗号技術の記事を読んで、実際にはさまざまな暗号技術があり必ずしもそうではないということが分かりました。（片山聡一郎）

コラム「情報技術と医療『医療従事者 vs 情報処理技術者：問題解決の勇者はどっち?』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■非常に面白く読めました。システム開発者側は、システム利用者の行動を予想して開発するために、実際の利用とはズレが生じる場面が多く存在します。結局のところは、システム開発者はどこまでも現場を深く把握する必要があるのだと思いますが、その難しさもシステム開発者側として同時に実感します。（平島大志郎）

■医療従事者のみならず、言語学者や音声学者、古文書学者も、情報処理とは無縁ではいられなくなりました。このような現状を考えると、情報処理技術者は、情報処理技術のみならず他の学問分野も習得する必要があると思われます。（水野光朗）

解説「愛・地球博グローバル・ハウス統合情報支援システム—CONSORTS アーキテクチャによる情報提供・会場運営支援システム—」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■愛・地球博には実際に訪れたが、あの壮大な会場の背景にある運営システムを知ることができてよかった。（太田宏佑）

■産総研で実際にシステムの研究開発にかかわった研究者の名前が出ていないように思います。（匿名希望）

■システムの趣旨、概要、骨子、今後の展開などいずれも分かりやすく書かれており、大変興味深く拝読した。国際的イベントだけに、今後の国内はもとより、世界のIT利用技術の進展にも貢献するところ大である。来場者へのコンテンツ配信、来場者の位置情報などの把握を、プライバシー保護に配慮しつつ行った面での苦心の跡が見られる。（匿名希望）

■先進的なアイデアを実現され、素晴らしいサービスを提供されたことに賛辞を贈りたいと思います。このような成果があったというご報告は大変ありがたいのですが、小生は1日会場を見てまわりましたが、あのような支援サービスの存在にまったく気づきませんでした。愛・地球博の開催前にこのような紹介記事が出れば、注意して見たのにと悔やまれます。新聞やTVなどのメディアでその存在をもっとPRされてもよかったのではないのでしょうか？（竹下 亨）

コラム「私の情報整理術『捨てる派の情報整理術』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■結局のところ「捨てる」「捨てない」の整理術は、目の前の情報が後から必要であるか必要でないか見分ける瞬時的確な判断が何よりも大切なように感じました。ますます情報過多になりつつある近年のWebを見てみると、なおさらに個人のそのような能力の必要性を実感します。（平島大志郎）

■「if 保有コスト > 保有メリット then 捨てる end」を主眼とした論説には、捨てることを好まない小生に、重要なことを示唆していただきました。（竹下 亨）

解説「よりよい検索システム実現のために：正解の良し悪しを考慮した情報検索評価の動向」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■最も興味深く読ませていただいた。情報検索評価について、一般的な従来手法・現在の検索動向に即した手法・今後の検索課題における問題点と、一通り説明されており、分野理解に役立つ。特に、今後の検索課題では、さまざまな観点から問題点が列挙されており、思わずその解決策を考えさせられてしまった。この分野への「勧誘論文」と思い、読んでみるのもよいのではなかろうか。(匿名希望)

■検索に関する研究を行う際、評価をどうするかというのが問題となることが多いので、今号の情報検索評価の動向の記事はとても参考になりました。ユーザによって欲しい情報が異なってくると思うので、理想的な指標を作るためには、ユーザについての情報も指標に盛り込まれる必要があるのではないかと思います。(片山聡一郎)

解説「ITスクールによる高度IT人材育成事例について(その1)～高校生にeToysとSmalltalkでオブジェクト指向プログラミングを教えてみて～」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■高校の情報Bでは「問題のモデル化とコンピュータを活用した解決」を扱います。その際の注意としてプログラミング言語を用いた実習を中心に行うようにと書いてある一方で、言語の取得が目的とならないようにとも書いてあり、指導者としては頭を悩ます部分だと思うのですが、今号に掲載されていた人材育成事例はその参考になる事例だと思いました。(片山聡一郎)

■30年前にカタカナPL/I言語を開発して中学生対象のプログラミング授業を行った経験がある小生には、隔世の感があります。大変優れたIT教育の試みだと思いますので、今後大いに発展することを期待いたします。(竹下 亨)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■コラム「アメリカITまわりの話題『世界で作るソフトウェア』」について：世界的に分散したソフトウェア開発人員を必要に応じて組み合わせることに対して少々疑問を感じました。どれくらいの企業がこのような体制を取りつつあるのでしょうか。理由としてあげられていた経験や人的ネットワークを築くためならば、他に効率の良い方法があると思われまじ、Adaptiveなシステムを構築するためならば、設計段階をしっかりとの方がよいと思われまじ。成功している事例を具体的に知りたく思いました。(平島大志郎)

会誌の内容や今後取り上げて欲しいテーマに関して、以下のようなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■TVのニュースで、自治体がフリーソフトウェアを用いて業務に支障がないかを確かめる実証実験が開始されたのを見た。フリーソフトウェアの現状について取り上げていただきたい。(匿名希望)

■身の回りのセキュリティと情報処理技術との関係や、外国ではどのような情報教育が行われているかについて。(片山聡一郎)

■このたび、創立45周年記念イベントとして「日本のコンピュータ生誕50周年記念シンポジウム」の案内があった。首都圏の会員ならば参加も容易だが、遠隔地の者には足が遠のいてしまう。居ながらにして最先端の動向などに接することができるよう、講演内容の骨子は終了後、Webページ化し、どこからでも参照できるようにして欲しい。(匿名希望)

【本誌担当 笹島宗彦、飛田高雄／書評・ニュース分野】

これらのコメントはWeb版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>>に掲載していますので、そちらも参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会Webページでも受け付けております。今後もよりよい会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

ご意見をお寄せください!!

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については <URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>>でこれからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。<URL:<http://www.ipsj.or.jp/somu/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F 情報処理学会 会誌編集部門
E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375
<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4705.html>



IPSJ カレンダー

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2006年				
	論文誌「産学連携論文」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-Y.html	5月15日(月)		
	論文誌「情報社会の基礎を築く情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-T.html	5月15日(月)		
	論文誌「社会システムと向き合うネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-Z.html	5月19日(金)		
	論文誌「インタラクティブ技術の原理と応用」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-Q.html	6月16日(金)		
	論文誌「ユーザ指向の分散システム/インターネットの運用・管理」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/07-R.html	6月23日(金)		
5月15日(月)	第96回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/IS96.html	3月10日(金)	当日のみ	機械振興会館
5月17日(水)	東海支部平成18年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			愛知厚生年金会館(名古屋)
5月17日(水)	第152回ソフトウェア工学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SE152.html	4月3日(月)	当日のみ	化学会館会議室(御茶ノ水)
5月18日(木)	第106回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/AL106.html	3月18日(土)	当日のみ	群馬大学伊香保研究所
5月18日(木)～5月19日(金)	第154回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CVIM154.html	2月28日(火)	当日のみ	奈良先端科学技術大学院大学
5月18日(木)～5月19日(金)	第37回モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究発表会 http://www.ieice.org/~momuc/jpn/pages/momuc_0605.html	3月21日(火)		沖縄県青年会館
5月19日(金)	中国支部平成18年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			広島大学 東千田キャンパス
5月19日(金)	第173回自然言語処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/NL173.html	2月28日(火)	当日のみ	東京農工大学 小金井キャンパス
5月19日(金)	第118回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/HI118.html	3月24日(金)	当日のみ	稚内北星学園大学東京サテライト校(秋葉原ダイビル12F)
5月19日(金)	第2回教育学習支援情報システム研究グループ http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CMS2.html	3月31日(金)	4月28日(金)	名古屋大学
5月22日(月)	四国支部平成18年度支部通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		5月22日(月)	香川大学工学部
5月22日(月)～5月24日(水)	先進的計算基盤システムシンポジウム(SACSIS2006) http://www.hpcc.jp/sacsis/2006/	1月20日(金)		大阪国際会議場(グランキューブ大阪)
5月23日(火)	第11回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/UBI11.html	3月17日(金)	当日のみ	公立はこだて未来大学 秋葉原サテライト
5月24日(水)	第19回高品質インターネット研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/QAI19.html	3月17日(金)	当日のみ	キャンパスプラザ京都
5月25日(木)～5月26日(金)	第59回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/MPS59.html	3月31日(金)	当日のみ	名古屋大学ベンチャー ビジネスラボラトリー
5月26日(金)	ナチュラコンコンピューティング研究グループ設立記念シンポジウム http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/NC1.html			愛知県勤労会館
5月26日(金)	第55回デジタル・ドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD55.html	3月17日(金)	当日のみ	日立製作所(大森ベルポート)
5月26日(金)	第70回人文科学とコンピュータ研究会発表会 http://www.sigch.soken.ac.jp/2006.05/	3月20日(月)	当日のみ	大阪市立大学 杉本キャンパス
5月30日(火)	情報処理学会第49回通常総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/rijikai_sohkai/sohkai/soukai2006-tujyo49.html			学士会館(東京都千代田区)
5月30日(火)～5月31日(水)	第139回データベースシステム・第83回情報学基礎合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DBS139FI83.html	4月9日(日)	当日のみ	首都大学東京 南大沢キャンパス
5月31日(水)	第60回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/GN60.html	3月24日(金)	当日のみ	化学会館会議室(御茶ノ水)
5月31日(水)～6月1日(木)	第59回プログラミング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/PRO59.html	4月1日(土)	当日のみ	産業技術総合研究所 秋葉原サイト
6月5日(月)～6月6日(火)	第127回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DPS127.html	4月10日(月)	当日のみ	岡山大学
6月8日(木)～6月9日(金)	第160回計算機アーキテクチャ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ARC160.html	3月20日(月)	当日のみ	NEC玉川ルネッサンス シティ
6月9日(金)	連続セミナー 2006 第1回「CIOを取り巻く環境」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-1.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
6月12日(月)	第106回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/HPC106.html	4月17日(月)	当日のみ	電気通信大学
6月17日(土)	第32回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EIP32.html	4月10日(月)	当日のみ	早稲田大学大久保 キャンパス
6月20日(火)	第17回システム評価研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EVA17.html	4月21日(金)	当日のみ	東京工科大学
6月22日(木)～6月23日(金)	Visual Computing / グラフィクスとCAD 合同シンポジウム2006 http://fuji03.sys.wakayama-u.ac.jp/vc2006/	3月13日(月)		東邦大学理学部(習志野キャンパス)
6月22日(木)～6月23日(金)	第25回高度交通システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ITS25.html	4月24日(月)	当日のみ	熊本大学
6月27日(火)	第1回組込みシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/EMB1.html	4月30日(日)	当日のみ	日本科学未来館

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
6月30日(金)	第16回ゲーム情報学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/GI16.html	4月21日(金)	当日のみ	山形大学工学部
7月5日(水)～ 7月7日(金)	マルチメディア、分散、協調とモバイル (DICOMO2006) シンポジウム http://www.dicom.org/	3月10日(金)	6月5日(月)	琴平グランドホテル (香川県琴平温泉)
7月6日(木)～ 7月7日(金)	第119回ヒューマンインタフェース研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/HI119.html	5月8日(月)	当日のみ	湯の川プリンスホテル 渚亭
7月7日(金)～ 7月8日(土)	第62回音声言語情報処理研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SLP62.html	5月28日(日)	当日のみ	鳴門温泉・ルネッサン スリゾートナルト
7月11日(火)	第123回グラフィクスとCAD研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/CG123.html	5月11日(木)	当日のみ	日本SGI(株)
7月12日(水)～ 7月13日(木)	DA シンポジウム 2006 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/S-DA2006.html	3月29日(水)	定員になり次第	遠鉄ホテルエンパイア
7月13日(木)～ 7月14日(金)	2nd International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2006) http://www.collabtech.org/			筑波大学
7月19日(水)～ 7月21日(金)	第9回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2006) http://www.hci.iis.u-tokyo.ac.jp/MIRU2006/	3月16日(木)		仙台市青年文化センター
7月20日(木)	連続セミナー 2006 第2回「ビジネスにおけるシステム思考」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-2.html		定員になり次第	東京大学 本郷キャンパス理学部 1号館内小柴ホール
7月27日(木)～ 7月28日(金)	第144回知能と複雑系研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/ICS144.html	5月20日(土)	当日のみ	東京工業大学大岡山 キャンパス
7月28日(金)	第56回デジタルドキュメント研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/DD56.html	5月19日(金)	当日のみ	山形大学工学部
7月31日(月)～ 8月2日(水)	2006年並列/分散/協調処理に関する『高知』サマー・ワーク ショップ (SWoPP 高知2006) (発表募集: 4月14日(金) 10:00 より4月24日(月) 17:00まで受付) http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/SWoPP2006.html	4月24日(月)	当日のみ	高知商工会館
8月25日(金)	第97回情報システムと社会環境研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2006/IS97.html	5月26日(金)	当日のみ	情報サービス産業協会
8月26日(土)～ 8月28日(月)	情報教育シンポジウム 2006 http://ce.tt.tuat.ac.jp/index.php?SSS2006	6月2日(金)		駿河台学園箱根セミナー ハウス紅雲荘
8月31日(木)～ 9月2日(土)	ネットワーク生態学研究グループ 第2回サマースクール http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html	6月20日(火)	6月20日(火)	山形県 青年の家
9月5日(火)	連続セミナー 2006 第3回「情報システム構築アプローチ」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-3.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
9月5日(火)～ 9月7日(木)	FIT2006 第5回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2006/index.html			福岡大学
9月15日(金)～ 9月17日(日)	エンタテインメントコンピューティング2006 http://www.entcomp.org/ec2006/ronbunyocho.php	6月16日(金)		日本科学未来館
9月28日(木)～ 9月29日(金)	東海支部「平成18年度電気関係学会東海支部連合大会」開催案内 http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/			岐阜大学
9月28日(木)～ 9月29日(金)	九州支部「電気関係学会九州支部連合大会」開催案内 および講演募集 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html	7月21日(金)	8月31日(木)	宮崎大学木花 キャンパス
10月11日(水)～ 10月13日(金)	The 3rd International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2006) http://www.icmu.org/icmu2006			BCS London Office, London, U.K.
10月19日(木)	連続セミナー 2006 第4回「情報システム部門のマネジメント」 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2006/2006-4.html		定員になり次第	東京電機大学 神田キャンパス7号館 1F 丹羽ホール
10月23日(月)～ 10月24日(火)	International Workshop on Security (IWSEC2006) http://www.iwsec.org/			京都
11月10日(金)～ 11月12日(日)	第11回ゲームプログラミングワークショップ http://sig-gi.c.u-tokyo.ac.jp/#nittei	7月16日(日)	10月28日(土)	箱根セミナーハウス
2007年				
1月15日(月)～ 1月19日(金)	SAINT2007 The 2007 International Symposium on Applications and the Internet http://infonet.cse.kyutech.ac.jp/conf/saint07/	7月1日(土)		広島国際会議場
3月6日(火)～ 3月8日(木)	第69回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/69kai/index.html			早稲田大学 理工学部 (大久保キャンパス)
3月15日(木)～ 3月16日(金)	ネットワーク生態学研究グループ第3回シンポジウム http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html			中央大学・後楽園 キャンパス

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 4月14日 人材募集情報(4月) 更新しました
- 3月31日 連続セミナー 2006 「IT アーキテクト・CIO のための情報システム最前線」参加申込受付開始しました
- 3月28日 JST からの委託により作成した「Web ラーニングプラザ」の教材(コンピュータアーキテクチャ、アルゴリズムとデータ構造)が公開されました

[学会からのお知らせ]

- 4月11日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 4月10日 迷惑メール(SPAM)対策によるメール遅延のお知らせ

人材募集 (有料会告)



申込方法：任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。
*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

申込期限：毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

掲載料金：国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)
賛助会員(企業) 31,500円(〃)
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)
*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

申込先：情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375
*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■静岡理科大学理工学部情報システム学科

募集人員 1名(役職は、実績・業績などにより考慮)
専門分野 情報科学、または、情報工学
応募資格 関連する博士号を有するか、または、対応する分野における十分な実績のある方。「組み込みシステム」、「SCM(サプライ・チェーン・マネジメント)」,または、「Webユーザビリティ」に関する実務経験があり、対応する分野の教育・研究指導が可能な方
着任時期 平成18年9月以前
提出書類 履歴書、教育実績、研究業績リスト(査読の有無で分類すること)、主要論文別刷(3編以内)、または、実務内容報告書(コピー可)、着任後の教育・研究に対する抱負(A4用紙2枚程度)、本人に関する所見を伺える方2名の氏名と連絡先
応募締切 平成18年5月31日
送付先 〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 静岡理科大学 事務局総務課 「情報システム学科教員応募書類在中」と朱書き書留
Tel(0538)45-0111(代表) Fax(0538)45-0110
照会先 情報システム学科 学科長 宮岡 徹 E-mail:miyaoka@cs.sist.ac.jp Tel(0538)45-0208(直通) Fax(0538)45-0110
その他 【待遇】本学規定による

■名古屋大学情報科学研究科メディア科学専攻

募集人員 助教授 1名
専門分野 主として数理・統計的な手法に基づき、音響信号、音声言語情報、人間行動信号の高度な処理を理論・実験両面から研究する
担当講座 音声映像科学講座
応募資格 博士の学位を有すること、40歳以下が望ましい
着任時期 平成18年10月1日以降
提出書類 履歴書、研究業績リスト、主要論文別刷、その他特記事項、これまでの研究概要(A4用紙2枚程度)、今後の研究計画(A4用紙1枚程度)、教育に関する実績と抱負(A4用紙1枚程度)、応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名と連絡先
応募締切 平成18年6月26日(必着)
送付先 〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町 名古屋大学情報科学研究科メディア科学専攻 専攻長 大西 昇 「メディア科学専攻助教授応募書類在中」と朱書き簡易書留か宅配便
照会先 メディア科学専攻 武田一哉 E-mail:takeda@is.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-3629
その他 詳細はWebページ(<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>)を参照ください
本学では採用に際して男女共同参画に配慮しており女性の積極的な応募を期待します

■駿河台大学

募集人員 教授, 助教授または講師 1名
担当科目 映像・音響分野(音楽情報処理, 音響情報論, 音響制作演習など)
応募資格 大学院博士課程(博士後期課程)を修了した方および所定の単位を修得した方(見込の方を含む)またはこれと同等の能力があると認められる方
着任時期 平成19年4月1日(予定)
提出書類 履歴書(本学所定の様式に準じて各自作成)1部, 研究業績リスト(本学所定の様式に準じて各自作成:(1)著書, 学術論文, その他に区分すること, (2)単著, 共著の別(共著には共著者名を記すこと), (3)各研究業績に200字程度の要旨を記すこと, (4)主要な研究業績5点に○印をつけること)3部, 主要な研究業績3点(コピー可)各1部, 上記の担当科目にかかわる教育歴がある場合は, その内容について1000字程度の要旨, ない場合は「教育に対する抱負」について1000字程度述べたものをつけること(A4用紙横書35字×30行, 1枚, ワープロ印刷)3部, 推薦書2通(様式自由)または推薦者2名の氏名・連絡先(住所・電話番号など)
 *提出書類については, 下記の照会先に照会・請求のこと
応募締切 平成18年6月30日(必着)
送付先 〒357-8555 埼玉県飯能市阿須698 駿河台大学教務課文化情報学部担当 「教員公募書類(映像・音響分野)在中」と朱書き郵送の場合には書留 *応募書類は返却いたしません
照会先 駿河台大学教務課 文化情報学部担当 E-mail:kyoumu@surugadai.ac.jp Tel(042)972-1311 Fax(042)972-1179

■筑波大学計算科学研究センター

募集人員 助教授または講師 1名
専門分野 データ工学(特に, データベース, 知識発見, 情報統合などの分野)
職 務 計算科学研究センターの計算情報学研究部門計算知能分野における研究, 大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻における研究・教育と情報学類(学部相当)における教育
応募資格 博士の学位を有し(着任時期までに取得見込可), 専門分野において優れた研究業績があり, 計算科学研究センターにおける計算科学での応用を視野に入れた研究と, 大学院・学類における研究・教育に熱意を有する方
着任時期 決定後できるだけ早い時期
提出書類 履歴書(連絡先とE-mailアドレスを明記), 研究・教育に対する抱負と自己アピール(2000字以内), 研究業績リスト(学術論文, 国際会議論文, 著書, 解説, その他の研究発表, 特許などのリスト, 共著者名はすべて記入), 主要論文別刷(5編以内, コピー可), 教育実績, 学協会での活動歴・社会貢献実績・受賞歴, 意見を求め得る方3名の氏名・所属・連絡先
 *提出書類に含まれる個人情報, 選考および採用以外の目的には使用しません
応募締切 平成18年6月30日(必着)
送付先 〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学計算科学研究センター長 宇川 彰 「計算情報学研究部門計算知能分野応募書類」と朱書き書留か宅配便 *応募書類は返却いたしません
照会先 計算科学研究センター計算情報学研究部門 教授 北川博之 E-mail:kitagawa@cs.tsukuba.ac.jp Tel(029)853-5522
その他 組織の詳細は下記Webページを参照ください
 計算科学研究センター (<http://www.ccs.tsukuba.ac.jp>), システム情報工学研究科 (<http://www.sie.tsukuba.ac.jp>)
 情報学類 (<http://www.coins.tsukuba.ac.jp>)

■豊田工業大学大学院工学研究科博士後期課程

募集人員 助教授 1名
所 属 情報援用工学専攻情報通信研究室
専門分野 情報応用分野, 特に通信理論, 情報理論, 高速大容量通信技術, さらにはパターン認識理論, 情景や顔画像などの解析および認識技術, 画像・音声処理やデータ圧縮などのマルチメディア処理など
職 位 Tenure Track制の助教授とする
 「豊田工業大学におけるTenure Track制」に関しては, Webページ(http://www.toyota-ti.ac.jp/Jinji/tti_rule_.html)を参照ください
応募資格 上記分野において優れた研究業績を有し, 今後, この分野の先駆的研究を推進できる方. 教育面においては, 大学院博士後期課程学生を指導できる能力を有するとともに, 情報通信工学, 情報基礎, 数学科目などの学部および大学院レベルの講義を担当できる方
着任時期 できるだけ早い時期
提出書類 履歴書, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編程度, コピー可), これまでの研究の要約と着任後の研究・教育についての抱負(2000字以内), 推薦者2名の氏名・所属・連絡先
応募締切 平成18年6月30日
送付先 〒468-8511 愛知県名古屋市中区久方2-12-1 豊田工業大学総務部 倉田弘継 Tel(052)809-1750 Fax(052)809-1734
 「情報通信研究室教員公募書類在中」と朱書き簡易書留 *なお公募書類は原則として返却いたしません
照会先 情報通信研究室教員選考委員会委員長 教授 成清辰生 E-mail:narikiyo@toyota-ti.ac.jp Tel(052)809-1816

■東北大学大学院情報科学研究科

募集人員 教授 1名
 所 属 応用情報科学専攻物理フラクチュオマティクス論分野
 専門分野 統計物理学, 量子力学などに基づく手法やゆらぎ現象ダイナミクスなどの積極的活用により, 高度な知的機能を実現するコンピュータシステムとその応用に関する研究分野
 応募資格 博士号取得者. 年齢については特に制限はありません
 着任時期 平成19年5月頃, またはそれ以降のなるべく早い時期
 提出書類 履歴書, 教育と研究に対する抱負, 研究業績リスト, 主要論文別刷(5編, コピー可)とその概要のまとめ, 本人の能力・人柄を評価できる5名の名前・連絡先住所・電話番号・Fax番号・E-mailアドレス
 応募締切 平成18年7月21日(必着)
 送付先/照会先 〒980-8579 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-3-09 東北大学大学院情報科学研究科応用情報科学専攻
 応用情報科学専攻長 中尾光之 E-mail:nakao@ecei.tohoku.ac.jp 書留にてその旨朱書
 その他 詳細はWebページ (<http://www.is.tohoku.ac.jp/publicadv/index.html>) を参照ください

■鶴岡工業高等専門学校制御情報工学科

募集人員 助手 1名
 専門分野 制御システム工学, 情報工学および関連工学分野
 担当科目 当面コンピュータ・グラフィクス, 制御情報系実験・実習など
 応募資格 博士の学位を有する方, または取得見込のある方, 高専の教育・研究・学生指導に熱意のある方, 年齢33歳位までの方
 着任時期 平成18年10月1日
 提出書類 履歴書(市販のものまたは同一書式に本人の自筆とする), 研究業績リスト(研究論文, 著書, 学会口頭発表など), 主要論文別刷(3編程度, コピー可, 業績リストに○印を付すこと), これまでの主な研究歴(企業における研究概要を含む, A4用紙2枚以内), 「高専における研究・教育」に対する抱負について記したもの(A4用紙1枚1000字程度), 応募者について照会可能な方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成18年8月18日
 送付先 〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田104 鶴岡工業高等専門学校庶務課 人事係長 高橋勝俊
 E-mail:jinji@tsuruoka-nct.ac.jp Tel(0235)25-9015 Fax(0235)24-1840
 「制御情報工学科教員応募書類在中」と朱書し簡易書留・親展
 照会先 制御情報工学科長 渡邊隆之 E-mail:twatanabe@tsuruoka-nct.ac.jp Tel/Fax(0235)25-9078
 その他 【選考方法】書類選考後に面接を実施

■高知工科大学情報システム工学科

募集人員 助教授または講師 1名
 専門分野 分散システム(ネットワーク, データベース), ICTシステム開発・運用方法論(たとえば, オブジェクト指向), バイオインフォマティクス, のいずれかの領域
 着任時期 平成19年4月あるいはそれ以前の適当な時期
 応募締切 平成18年8月31日
 照会先 情報システム工学科 学科長 岩田 誠 E-mail:iwata.makoto@kochi-tech.ac.jp Tel(0887)53-1020 Fax(0887)57-2220
 その他 応募資格, 任期, 提出書類などの詳細はWebページ (http://www.kochi-tech.ac.jp/kut_J/kyosyokuin/index.html) を参照ください

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集、参加案内等）の本誌掲載については、下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議、シンポジウム、ワークショップ、講演会、講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ、1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関、国公立研究機関、 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関、国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に、件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し、掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm
 * A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し、E-mail または Fax、郵送にてお送りください。
 [募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先]
 * なお、都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし、翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので、3 カ月以内にお支払いください。

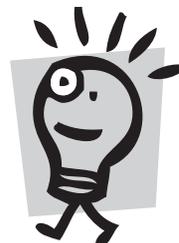
■掲載申込先

(社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375

学生会員のみなさまへ

平成18年度研究会の中から
無料で1件登録できます！

今すぐ
チェックして
申し込もう！



<平成18年度研究会一覧>



お申し込み

登録希望研究会の申込欄に○をご記入ください。
無料申請は1件のみです。



事務局へ FAX (03-3518-8375)

年 月 日

会員番号

E-Mail

フリガナ
氏 名

お問合せは

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台 1-5

化学会館 4F

(社) 情報処理学会 研究部門 調査研究担当

Tel(03)3518-8372 (研究部門直通)

Fax(03)3518-8375 (共通)

E-mail:sig@ipsj.or.jp

データベースシステム
ソフトウェア工学
計算機アーキテクチャ
システムソフトウェアとオペレーティング・システム
システム LSI 設計技術
ハイパフォーマンスコンピューティング
プログラミング
アルゴリズム
数理モデル化と問題解決
組込みシステム
マルチメディア通信と分散処理
ヒューマンインタフェース
グラフィクスと CAD
情報システムと社会環境
情報学基礎
オーディオビジュアル複合情報処理
グループウェアとネットワークサービス
分散システム/インターネット運用技術
デジタルドキュメント
モバイルコンピューティングとユビキタス通信
コンピュータセキュリティ
高度交通システム
高品質インターネット
システム評価
ユビキタスコンピューティングシステム
自然言語処理
知能と複雑系
コンピュータビジョンとイメージメディア
コンピュータと教育
人文科学とコンピュータ
音楽情報科学
音声言語情報処理
電子化知的財産・社会基盤
ゲーム情報学
エンタテインメントコンピューティング
バイオ情報学

詳しくはこちら
Webからも申し込めます



<http://www.ipsj.or.jp/09sig/kenyukai/toroku.html>

ご意見をお寄せください!

【6月10日頃までにお出しください】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4705.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

1. ご氏名
2. ご所属 Tel. () -
3. E-mail:
4. 業種: (a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)
(e) 学生 (f) その他 4-
5. 職種: (a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)
(i) 学生 (j) その他 5-
6. 年齢: (a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6-
7. 性別: (a) 男性 (b) 女性 7-
8. あなたはモニタですか?: (a) はい (b) いいえ 8-
9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合:
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9-
10. 今月号 (2006年5月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。
[a...大変参考になった b...よい c...普通, どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない]
- 小特集: サービス・サイエンスの出現
1. 第68回全国大会特別セッションレポート 10-1-
2. Becoming a Service Scientist 10-2-
3. サービス・サイエンスについての動向 10-3-
PC 搭載セキュリティチップ (TPM) の概要と最新動向 10-4-
画像を用いた個人認証手法 10-5-
特集: 高信頼性組み込みソフトウェア開発
1. 高信頼性組み込みソフトウェア開発のための技術課題 10-6-
2. 形式的手法による高信頼性組み込みソフトウェア開発 10-7-
3. モデル検査技術による UML 設計検証 10-8-
4. 高信頼・セキュア組み込みオペレーティングシステム 10-9-
5. リアルタイムスケジューリング理論とその適用事例 10-10-
6. 組み込みソフトウェア開発におけるレビュー技術 10-11-
21世紀のコンパイラ道しるべ・COINSをベースにして: HIRの説明と簡単な言語のフロントエンド 10-12-
オープンソース事情: オープンソースソフトウェア・センターの設立 10-13-
標準化よもやま話: 研究と国際標準 10-14-
私の情報整理術: タグ付けでノイズの少ない検索 10-15-
ナレッジマネジメント: 知識経営の戦略 10-16-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

2年ほど前にサービス・サイエンスの議論をしていた頃は、実に混沌とした中で先も見えず、あげくに途中でそういえばサービスの定義が必要じゃないのかと振り出しに戻ったりして、本当に一貫性のある話ができるようになるのかと思った記憶があります。それが今では、世界のあちこちでワークショップが開かれるようになり、日本でも昨年産学官で盛り上がりつつある現状に感慨深いものを感じます。それでもまだ、マネジメント系の人たちとテクノロジー系の人たちの間には考え方に言葉にも大きな壁があり、お互いに納得するかたちで融合するまでにはしばらく時間がかかりそうです。

本小特集は、経済産業省のシンポジウムや全国大会特別セッション準備とも重なり、また翻訳作業もあって時間との競争でした。さらに言葉の壁でしょうか、英文からの翻訳ではいくつも疑問点が発生し、学会のために来日した Jeff Kreulen をつかまえてどうにか形にしました。サービス・サイエンスについてはまだ議論が収束したわけではなく、やっとスタート地点に立ったところです。異なる立場からは異なる意見も多くあることでしょう。今後も活発な意見交換ができることを期待しています。

(水田秀行／本小特集エディタ)

初めてコンピュータなるものに触れたのが、高校入学祝いに親に買ってもらったパソコン。当時はまだコンピュータやソフトウェアは特別な物という感じで、大学時代でも少数派扱いをされたものだった。それが今やソフトウェアは社会を支える重要基盤となっており、他の工学分野に比べればその進化はまさに一瞬のうちに起こっているといえる。その進化の速度を考えれば、今回の特集のような信頼性に関する議論はもっと早くに

なされていても不思議ではなかった。ソフトウェアが本当に社会基盤たり得るために、この種の議論がますます盛んになることを期待したい。

末筆ながら、今回の仕事が編集委員として最後の仕事となりました。これまでお世話になった関係各位にはこの場を借りてお礼を申し上げます。

(片岡欣夫／本特集エディタ)

次号 (6月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」情報処理学会 創立 45 周年記念「50 年後の情報科学技術をめざして」記念論文

優秀論文賞：妖精・妖怪の復権—新しい「環境知能」像の提案—/未来創像賞：50 年後の情報科学技術をめざして

「特集」バイオメトリック認証システム

バイオメトリック認証によるセキュリティ技術の動向と展望/金融分野への応用事例/電子パスポート/バイオメトリック認証の脆弱性/バイオメトリック認証システムのセキュリティ評価/安全性対策技術の動向/生体検知技術/セキュリティ評価構築技術/バイオメトリック認証技術の標準化動向

解 説

設計開発における知識継承..... 中山康子

報 告

日本学術会議と「情報学」の新展開..... 寛 捷彦
学会創立 45 周年記念シンポジウム併設展示報告 椎塚久雄

連 載 ナレッジマネジメント/21 世紀のコンパイラ道しるべ・COINS をベースにして

コラム オープンソース事情/標準化よもやま話/私の情報整理術

複写される方に

☐ <学術著作権協会依頼>

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、(社)日本複写権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複写権の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接当学会へご連絡ください。

〒170-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

学術著作権協会

E-mail: naka-atsu@muj.biglobe.ne.jp

Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619

ただし、アメリカ合衆国における複写については、右記の In the USA に記載の所へご照会ください。

Notice about Photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission from the following organization, which has been delegated for clearance by the copyright owner of this publication.

Except in the USA

Japan Academic Association for Copyright

Clearance (JAACC)

6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo

107-0052, Japan

E-mail: naka-atsu@mju.biglobe.ne.jp

Tel: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

In the USA

Copyright Clearance Center, Inc. (CCC)

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone: (978)750-8400 Fax: (978)750-4744

http://www.copyright.com

掲載広告カタログ・資料請求用紙

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、必要事項をご記入の上、E-mail:sei@ss-com.co.jp または Fax.03-3368-1519 へご請求ください。

「情報処理」 月号をみて

広告主名	製品名	希望項目 [※]	その他要望事項

※希望項目：A 購入希望, B 担当者から連絡・訪問希望, C カタログ希望

フリガナ
お名前

勤務先

所属部署

所在地

(〒 -)

TEL ()

-

FAX ()

-

ご専門の分野

広告のお問合せ・お申込みは・・・広告総代理店（株）精機通信社へ

発行 社団法人 情報処理学会
 発行部数 30,000 部
 体裁 A4 判
 発行日 毎当月 15 日
 申込締切 前月 10 日
 原稿締切 前月 20 日
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム
 原稿寸法 1 頁 天地 260mm × 左右 180mm
 1/2 頁 天地 125mm × 左右 180mm
 雑誌寸法 天地 297mm × 左右 210mm

お問合せ・お申込みは

広告総代理店

（株）精機通信社 Tel.03-3367-0571

〒 169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27

Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp

■広告料金表

掲載場所	4 色	2 色	1 色
表 2	346,500 円 (税抜 330,000 円)	—	—
表 3	288,750 円 (税抜 275,000 円)	—	—
表 4	404,250 円 (税抜 385,000 円)	—	—
表 2 対向	315,000 円 (税抜 300,000 円)	—	—
表 3 対向	278,250 円 (税抜 265,000 円)	199,500 円 (税抜 190,000 円)	162,750 円 (税抜 155,000 円)
前付 1 頁	262,500 円 (税抜 250,000 円)	173,250 円 (税抜 165,000 円)	141,750 円 (税抜 135,000 円)
前付 1/2 頁	—	—	84,000 円 (税抜 80,000 円)
前付最終	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
目次前	—	—	155,400 円 (税抜 148,000 円)
差込 (A 判 70.5kg 未満 1 枚)	288,750 円 (税抜 275,000 円)		
差込 (A 判 70.5kg ~ 86.5kg 1 枚)	367,500 円 (税抜 350,000 円)		

* 上記料金はポジフィルム納入による料金です。

* 版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。

* 断切広告は上記料金の 10% 増です。ただし、表 4 は不可。